



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月12日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東
 コード番号 4760 URL <https://www.popalpha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高尾 宏和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長兼経営企画室長 (氏名) 難波 和彦 TEL 086-277-4511
 四半期報告書提出予定日 2021年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	3,167	△5.9	110	—	157	—	127	—
2020年8月期第2四半期	3,365	△8.5	△87	—	△66	—	△217	—

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 143百万円 (—%) 2020年8月期第2四半期 △263百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	158.47	—
2020年8月期第2四半期	△270.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第2四半期	4,567	2,032	44.5	2,527.75
2020年8月期	4,252	1,921	45.2	2,389.62

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 2,032百万円 2020年8月期 1,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年8月期	—	0.00			
2021年8月期（予想）			—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,370	3.9	20	—	10	—	5	—	6.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年8月期2 Q	915,444株	2020年8月期	915,444株
2021年8月期2 Q	111,280株	2020年8月期	111,280株
2021年8月期2 Q	804,164株	2020年8月期2 Q	804,209株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

決算説明会の内容（動画）については、説明会資料とともに、2021年4月13日（火）より当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により個人消費、企業活動が停滞し、2021年1月には11都府県を対象とした緊急事態宣言が再発令されたことにより、飲食やイベントを中心に経済活動が再び制限される状況となりました。新型コロナウイルス感染症拡大による影響が多くの業種において需要低迷を招く中で、流通小売業において販促費の抑制方針を継続する取引先も見られ、今後の景気や企業業績の先行きについては依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、自社企画製品は、主要得意先である流通小売店向け演出物の受注減少等により、売上高は454百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

別注製品は、引き続き採算性を重視した取引の選別を推進し、メーカーと小売店との融合企画である消費者向けキャンペーンの一括受注、SNS、ARなどITデジタル技術等を組み込んだ企画提案等を強化いたしました。大口取引先の受注減少等により売上高は1,659百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

商品は、ノベルティ関連商品や演出物の売上について、新型コロナウイルス感染症によるさまざまな活動自粛による経済の停滞により、売上高は1,053百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,167百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

一方、損益面では売上総利益率が改善したことや、出張自粛、テレワークの導入や人件費の削減など経費の抑制を図ったこと等により営業利益は110百万円（前年同四半期は87百万円の営業損失）、また、投資有価証券の売却益や雇用調整助成金の受給等により経常利益は157百万円（前年同四半期は66百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は127百万円（前年同四半期は217百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金が247百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が164百万円増加したこと、仕掛品が14百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比370百万円増加し2,964百万円となりました。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、有形固定資産が9百万円減少したこと、無形固定資産が22百万円増加したこと、投資その他の資産が68百万円減少したことにより、前連結会計年度末比54百万円減少し1,602百万円となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、支払手形及び買掛金が70百万円増加したこと、短期借入金が220百万円減少したこと、1年内返済予定の長期借入金が72百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比99百万円減少し1,824百万円となりました。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、長期借入金が334百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比303百万円増加し710百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が95百万円増加したこと、退職給付に係る調整累計額が32百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比111百万円増加し2,032百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ217百万円増加し、814百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は80百万円(前年同四半期は363百万円の使用)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が148百万円となったことや、賞与引当金の減少額41百万円、退職給付に係る資産の減少額31百万円、売上債権の増加額164百万円、仕入債務の増加額40百万円及び法人税等の還付額36百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は17百万円(前年同四半期は271百万円の獲得)となりました。これは、定期預金の増加額30百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円、無形固定資産の取得による支出21百万円、投資有価証券の売却による収入42百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果得られた資金は154百万円(前年同四半期比92百万円増)となりました。これは、短期借入金の純減少額220百万円、長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出93百万円、配当金の支払額32百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年10月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,103,654	1,350,872
受取手形及び売掛金	950,676	1,115,596
商品及び製品	399,732	389,801
仕掛品	42,529	28,276
原材料及び貯蔵品	3,178	4,057
その他	95,801	76,950
貸倒引当金	△814	△759
流動資産合計	2,594,757	2,964,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	167,585	160,139
土地	1,136,967	1,136,967
その他(純額)	38,644	36,999
有形固定資産合計	1,343,197	1,334,106
無形固定資産	66,702	89,226
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	28,850	5,615
その他	219,047	174,084
貸倒引当金	△146	△146
投資その他の資産合計	247,751	179,553
固定資産合計	1,657,651	1,602,887
資産合計	4,252,409	4,567,683
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,529	446,913
電子記録債務	216,091	186,309
短期借入金	820,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	126,696	198,696
未払法人税等	9,887	36,442
賞与引当金	70,688	29,157
その他	303,813	326,501
流動負債合計	1,923,706	1,824,020
固定負債		
長期借入金	357,732	692,384
長期末払金	15,092	15,092
退職給付に係る負債	1,522	1,671
その他	32,712	1,794
固定負債合計	407,059	710,941
負債合計	2,330,766	2,534,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	409,796	409,796
資本剰余金	417,733	417,733
利益剰余金	1,282,950	1,378,217
自己株式	△264,263	△264,263
株主資本合計	1,846,216	1,941,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,852	1,504
退職給付に係る調整累計額	57,574	89,733
その他の包括利益累計額合計	75,426	91,238
純資産合計	1,921,643	2,032,721
負債純資産合計	4,252,409	4,567,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	3,365,487	3,167,658
売上原価	2,003,496	1,816,968
売上総利益	1,361,990	1,350,689
販売費及び一般管理費	1,449,890	1,240,261
営業利益又は営業損失(△)	△87,899	110,428
営業外収益		
受取利息及び配当金	726	855
保険解約返戻金	22,576	—
投資有価証券売却益	—	21,670
助成金収入	340	28,701
その他	1,381	1,005
営業外収益合計	25,024	52,234
営業外費用		
支払利息	3,447	4,546
その他	371	369
営業外費用合計	3,818	4,915
経常利益又は経常損失(△)	△66,694	157,746
特別損失		
減損損失	—	8,800
特別損失合計	—	8,800
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△66,694	148,946
法人税、住民税及び事業税	3,869	21,513
法人税等調整額	146,685	—
法人税等合計	150,554	21,513
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△217,248	127,433
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△217,248	127,433

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△217,248	127,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,968	△16,347
退職給付に係る調整額	△43,675	32,158
その他の包括利益合計	△46,643	15,811
四半期包括利益	△263,892	143,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△263,892	143,245
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△66,694	148,946
減価償却費	38,326	28,227
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△114	△55
のれん償却額	1,499	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,932	△41,531
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	31,885
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	63,499	148
受取利息及び受取配当金	△726	△855
支払利息	3,447	4,546
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21,670
減損損失	—	8,800
保険解約返戻金	△22,576	—
助成金収入	△340	△28,701
売上債権の増減額(△は増加)	46,812	△164,920
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,175	23,305
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,882	40,601
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,211	△13,137
その他の負債の増減額(△は減少)	△325,665	9,972
その他	369	—
小計	△327,363	25,561
利息及び配当金の受取額	746	756
利息の支払額	△3,431	△4,654
助成金の受取額	340	21,828
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△33,971	36,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	△363,679	80,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	270,000	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△20,006	△9,385
無形固定資産の取得による支出	△31,937	△21,100
投資有価証券の売却による収入	—	42,090
保険積立金の解約による収入	53,119	—
長期貸付金の回収による収入	—	198
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	318	120
その他	272	621
投資活動によるキャッシュ・フロー	271,765	△17,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	△220,000
リース債務の返済による支出	△6,539	△136
長期借入れによる収入	150,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△53,348	△93,348
配当金の支払額	△48,269	△32,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,843	154,357
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,070	217,218
現金及び現金同等物の期首残高	588,025	597,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	557,954	814,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の影響については、不確実性が高く、収束時期が予想しづらい状況にあります。さらなる感染拡大が警戒される中、新型コロナウイルス感染症が長期化する場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が、第1四半期で仮定していたよりも長期化すると判断し、店頭広告関連商品の売上への影響は2021年9月頃まで続くと想定しております。また、イベント自粛によるメーカーキャンペーンやイベントビジネスへの影響は2021年12月頃までには落ち着きを見せ、2022年1月以降売上は徐々に改善すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損の認識に関する会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定の変更に伴う当第2四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年2月29日)及び当第2四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年2月28日)

当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。